

## 2016（平成28）年度 事業報告書

1. 施設名 ひかり幼児園
2. 種別 保育所
3. 定員 90人
4. 園長名 新美美穂
5. 職員 24人（常勤13人 非常勤9人 パート2人）  
（園長 保育士 栄養士 調理師 看護師 事務員 調理員）
6. 園児在籍数 入園28人 退園11人（転園6、家庭復帰4 転居1）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	4	4	5	5	7	8	9	9	9	9	9	9
1歳児	17	16	15	16	16	16	16	17	18	18	18	18
2歳児	16	16	16	16	16	17	17	17	17	17	17	16
3歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	16
4歳児	18	17	17	17	17	17	17	16	17	17	17	17
5歳児	16	16	16	15	15	16	16	16	16	16	16	16
合計	89	87	87	87	89	92	93	93	95	95	95	92

年度当初及び入園時8人が短時間保育認定された。（途中標準時間認定に変更した園児もいる）

### 7. 事業内容

#### （1）保育の必要な乳幼児の保育

4月の熊本地震で1週間（16日～23日）の休園をした。その間、園児家庭に電話し、家屋に被害があったり車中泊を続けた方も多量中、全員が無事であったことを確認した。公務員やライフラインに関わる仕事をしている保護者の中には不眠不休の勤務となり、そのような中、祖父母宅に預けるなどして休園に対応していただいた。開所時間変更など刻々と変わる状況はホームページで知らせた。再開後も度重なる余震に子どもも職員も不安な日々を過ごしたが、救援物資を臨機応変に献立に取り入れ、合同保育にして安心感をもたせること、ていねいな心のケアを行うことに注意を払い、通常保育に近づけてきた。

建築を予定して、最後の園庭での運動会、仮園舎での生活を想定したたてわり保育を始めた。

#### 一時預かり事業（熊本市委託事業）実績：利用延べ人数 1338人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	5	5	13	17	9	20	30	31	25	43	53	72
1歳児	19	27	49	72	59	65	87	74	71	42	70	67
2歳児	13	27	46	36	32	18	14	13	16	12	10	9
3歳児	5	7	0	13	12	4	2	1	0	0	0	0
4歳児	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5歳児	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	8	10
合計	46	66	108	138	113	107	133	119	112	97	141	158

今年度の特記事項として、家族の長期入院など緊急で厳しい状況を配慮し、子どもも家族も支えたケースが数件ある。緊急的支援や就労による利用者が多くなると、私的利用者の回数を調整することになるが、母親の育児不安やストレスにきめ細やかな対応が求められた。

## (2) キリスト教保育

今年度は、カリキュラムの中で覚えやすい聖書のことばが与えられ、合同礼拝では身近な話題や親しみやすい聖書の話をする事ができた。また、キリスト教保育連盟が発行する『ともに育つ』の月刊情報誌を保護者と全職員が読んだこともキリスト教保育を浸透させることにつながった。

熊本地震を通して、キリスト教保育連盟や教会のネットワークがうまく機能し、必要とする救援物資がいち早く届いたことは、ありがたかった。祈りによって支えられていることも実感できた。

宣教研修生（神学生）の2回の本園訪問は、受け入れる側も良い学びの時となった。

## (3) 保育内容

熊本地震の影響（長期閉館や余震による安全確保の難しさ）で、園外保育には制約をうけたが、柔軟に対応し、子ども達の生活を重視した行事の在り方を模索し工夫した。

配慮を必要とする園児、手帳を持ち療育を行っている園児の保育については、保護者や関係機関と連携をとりながら、個別の対応を重視した。

建築期間中の保育を想定し、たてわり保育を始めたが、子ども達の関係が密になり、年齢差を超えて、育ち合う姿が見られた。同時に、同年齢での保育時間を確保し、豊かな経験ができるよう配慮した。

『ひかりだより』の様式を変更し、保健衛生に関することや給食やおやつメニューのレシピ提供をし紙面の充実に努めた。保育参観を午後も公開したのも子どもの様子がよくわかると好評だった。

## (4) 健康管理・衛生管理

手洗い・うがいや予防接種を重点的に啓発した。（ポスター掲示や声掛け）マスクやペーパータオルも感染拡大予防に有効活用した。

室内や園庭の清潔（掃除の徹底）、砂場消毒の管理を行った。

食物アレルギーやけいれん発作経験を持つ子どもの情報は全職員が理解し、細心の注意を払った。

主な感染症	インフルエンザ A 型 3 人 インフルエンザ B 型 4 人 手足口病 16 人 流行性耳下腺炎 21 人
内科健診	5・10・1月 全員異常なし 家庭へ通知
歯科健診	6・1月 結果を家庭へ通知 4・5歳児：食後の歯磨きとフッ素洗口
身体測定	毎月末に結果をこひつじノートや連絡帳に記入
その他	職員：年1回健康診断 定期的に腸内細菌検査 調理関係者：毎月腸内細菌検査 ノロウイルス検査

## (5) 安全管理・危機管理

熊本地震直後の避難訓練は、予告をし、非常ベルを鳴らさず、肉声での伝言に変えて行ったが、『訓練でできないことは非常時にもできない』のことば通り、訓練を大切にした。

地震後しばらく2階の使用を控えた。また、園庭倉庫解体前後も付近の立ち入りを禁じた。

救援物資による備蓄品も増え、その数を把握し整理整頓に努めた。

誘導ロープ、誘導ライト、担架として使用できるベンチ、段ボールトイレ、持ち運びのしやすい乳児用椅子等を新たに購入した。

食事中や睡眠中の事故、保育者の人数確認の甘さからくる事故、水遊び中の事故、不審者侵入など、事故の報道から自園の保育を振りかえり、マニュアルを読み返した。

## (6) 食育・給食

おやつメニューとして、「おにぎりの日」、「蒸しパンの日」「お豆の日」が定着してきた。また、3月の年長児のリクエストメニューだけでなく、全職員からのリクエストメニューも給食やおやつに登場し、好評だった。

非常食体験を2か月おきに行った。これは、イベント的なことだけでなく、スキムミルクを牛乳代わりに飲んでみたり、乾パンや紙コップ、広告紙を折った紙皿の登場回数を増やし、慣れていくことを目的としたものである。

毎月のひかりだよりに、レシピを掲載した。子ども達が大好きで作りやすい米粉クッキーは、休日に親子で調理してみるなど、すぐに反応が返ってきた。

畑での栽培は数多くできなかったが、春日ぼうぶらは、畑中が蔓と葉に覆われ、大豊作となった。熊本市保育園連盟主催のかぼちゃ栽培コンテストに応募しトロフィをいただいた。

食育活動一覧

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
活動	支援物資での誕生会ランチ	そら豆収穫	セレクト給食(かむことの大切さ)	・人参種まき ・非常食体験(さば缶弁)	かぶ種まき	非常食体験 収穫汁 団地の方と共に
郷土料理	ふくれがし(鹿児島県)	石垣もち(大分県)	ちんすこう(沖縄県)	雨降り団子汁(熊本県)	本郷かまぼこ(長崎県)	チキン南蛮(宮崎県)
食育だよりのテーマ	保育所給食とは	端午の節句	噛むことの大切さ	野菜嫌いどうすればいいの?	清涼飲料水 糖分に気をつけて!	脳を育てる食生活
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
活動		非常食体験(さば缶雑炊)	クリスマスランチバイキング クリスマスケーキ作り	非常食体験(備蓄品で) 七草粥	創立記念日 お祝いおやつ	非常食体験 お別れパーティー会食 リクエスト給食
郷土料理	かるかん(鹿児島県)	とり天(大分県)	筑前煮(福岡県)	人参しりしり(沖縄県)	いきなり団子(熊本県)	魚ろっけ(佐賀県)
食育だよりのテーマ	疲れた時の解消ポイント	吸い食べ、チュチュ食べについて	冬の風邪予防	お正月について	アレルギーについて	具合が悪い時の食事

## (7) 保護者支援

熊本地震後、どなたも大変な状況だったと思われる。救援物資特にオムツやおしりふき、ウェットティッシュ、粉ミルクやレトルトの離乳食が必要なご家庭に提供したが、とても喜ばれた。仕事や家事の疲れに加え、余震への不安や育児不安を抱えた保護者にねぎらいの言葉をかけ、心を通わせることを第一に考えて過ごした。

チャイルドファンドジャパンとルーテル学院大学が共同で始めた心のケアの取りくみに、ルーテル幼保連合会に属する園長が参加、編集に協力した。作成された保護者のためのウェブサイトや手引書、保育者のための手引書は多くの方に活用していただいた。

## (8) 地域・関係機関との連携

### ●地域との連携

大江1町内粋・生サロンに参加した。

大江保育園のクリスマス会に年長児が招かれ、交流の時がもてた。

建築中の高野病院工所用壁面に、園児の絵画を提供した。

クリスマスプレゼントを贈り続けている石巻の3つの保育所からは、地震後すぐに安否確認と励ましの電話をいただいた。その後、子どもからの絵のプレゼントが届くなど、震災を通した心のつながりができていることを感謝する。

### ●小学校との連携

校区内外の小学校・中学校の学校行事や交流会、連絡会に積極的に参加した。

### ●実習生の受け入れ

6月6～9日 6月27～30日 10月17～20日	九州中央リハビリテーション学院看護科3年（小児看護学臨地実習） 合計7人
6月6～18日	奈良学園大学奈良文化女子短期大学部2年 1人
8月16～26日	福岡こども短期大学2年 1人
9月7～9日 9月14～16日	熊本市立西原中学校2年（ナイストライ）1人 熊本市立白川中学校2年（ナイストライ）3人
12月14～16日	熊本県立商業高等学校2年 3人
2月27日～3月11日	熊本学園大学子ども家庭福祉学科3年 2人

保育者や看護師を希望する学生にとっては、生命を守ることに責任を感じる一方で、子ども達の笑顔に元気をもらい、この仕事のやりがいを感じてもらえたのではないかと思います。

熊本県社会福祉協議会福祉人材研修センター出前講座で、本園若手保育士が九州学院中学校2年生に保育の仕事のやりがいについて話す機会があった。幼稚園と保育所の違いなど興味深く話を聞いてもらったことをうれしく思う。これからもこのような機会があれば貢献していきたい。

## 8. 苦情解決

### 苦情解決体制

苦情解決責任者	新美美穂（ひかり幼児園園長）
苦情解決受付担当者	大津美穂（ひかり幼児園職員）
苦情解決第三者委員	寺本 晟（神水幼稚園前園長） 本田多恵子（大江小学校児童育成クラブ指導員） 鳥崎一郎（大江校区社会福祉協議会会長）

12月と3月に委員会を開催して、園の状況及び苦情について報告、助言を求めた。今年度は次の苦情があった。

#### ●近隣住人からの苦情（焼き芋の煙について）

園庭で行った焼き芋の煙にびっくりされての電話。説明すると理解を示していただく。  
<対応>事前のお知らせが不十分だった。来年は、四方を高層マンションに取り囲まれることになるので、今回が最後との認識でいる。

苦情解決第三者委員からは、「早めのお知らせで理解していただけることも多いので、今後心がけるとよいでしょう。」と助言をいただいた。

## 9. 職員の資質向上

### （1）園長の責務

熊本地震による直接の被害の確認、園児家庭や職員の安否確認、行政との対応、再開後の安全確保、心のケア、行事の持ち方など、各方面に渡っての配慮や様々な判断に苦慮したが、やれるだけのことはしたという思いでいる。改めて、いのちを守り、適切な対応をしていくことの責任を感じたが、緊急時の連絡や事業継続計画の検討と改善を進めていきたい。

園舎改築計画が進行し、間取りや外観イメージを話し合うと同時に、理念をわかりやすいことばで示したり、環境や雰囲気はどう園舎作りに落とし込んでいくかということに深く注目することになった。そのことが保育課程の修正につながり、職員に浸透させていくことを意識した。また、大阪府が示した『子ども施設環境配慮手引書』を熟読し、地域の中での共生という観点から自園が地域に愛される存在であるかの振り返りとなった。

キャリアアップのための目標設定や定期的面談ができず、これは次年度の課題として真摯に取り組みたい。また、職員の心身の不調や入院等の対応、家庭の状況を配慮した勤務体制を敷いたが、やや無理が出ているので人材確保策など労務の観点から勉強を続けたい。

### （2）研修実施記録（園内・園外）

職員は、以下の研修会に参加し、復命書を書いたり報告をして、共有化した。

月	対外研修	園内研修
4月		事業計画その他の共有 2日 聖書会 12日 心のケア情報提供

5月	慈愛園新任職員研修会 19日 熊本県福祉施設士会研修会 25日（危機管理） 熊本市保育所等職員合同研修会 25日（心のケア） キリスト教保育連盟熊本地区春季保育者研修会 28日 5ブロック合同主任・リーダー保育士研修会 31日	聖書会 10日
6月	中央ブロック給食部会研修会 2日 県市合同女性部研修会 13日（保育情勢、心のケア） キャリアパス研修会 20日 中央ブロック保育士会研修 21日（羊毛操り人形） 新任園長研修会 23日 食品衛生研修会 24日 心のケア研修会 28日 熊本市保育所等職員合同研修会 28日（障がい児保育）	聖書会 14日 AED講習 28日
7月	心のケア研修会 4日 保育士・看護師研修会 7日 リーダーセミナー8日（小学校連携） 熊本県福祉サービス第三者評価研修会 19日 熊本市保育所等職員合同研修会 20日（主任保育士研） 中央ブロック給食部会研修会 21日	聖書会 12日 園内研修（保育指針） 28日 保育サポート 12日
8月	熊本市保育所等職員合同研修会 25日（心のケア） 特別研修会 26日（熊本地震から学ぶ） キ保連九州部会設置者・園長研修会 29～30日 熊本市保育所等職員合同研修会 30日（年長児担当者）	いのちを守る保育についての講演会要旨配布 保育サポート 9日
9月	熊本市保育所等職員合同研修会 2日（障がい児保育） キリスト教保育連盟熊本地区秋季保育者研修会 3日 熊本市保育園連盟部会連携研修会 3日（脳科学からの寝食遊） 熊本市子どもの食育推進ネットワーク地域研修会 16日 健康保険委員・年金委員実務研修会 20日	聖書会 13日
10月	保育士就労支援セミナー14日	ひかりの良い所、職員像懇談 1日 聖書会 12日
11月	近隣小学校訪問研修 8日 中央ブロック主任保育士研修 11日（エビデンスに基づいた保育実践） 中央ブロック給食部会研修会 17日（防災知識） 慈愛園管理職第1回研修会 17日 熊本市保育園連盟女性部研修会 28日（マナー研修）	聖書会 8日
12月	キ保熊本地区クリスマス 3日 熊本市子どもの食育推進ネットワーク全体研修会 16日 熊本市保育園連盟危機管理研修会 26日	たてわり保育関係資料配布、読みあわせ

1月	変形労働時間制に関する勉強会 10日 平成28年度保育研究大会（講演会）12日 キリスト教保育連盟九州部会主任研修会 13～14日 熊本市保育所等職員合同研修会 18日（保健衛生） 中央ブロック給食部会研修会 19日（豆腐作り） ブロック合同研修会 25日（教育の情報発信）	聖書会 23日
2月	熊本市保育園連盟女性部研修会 3日（断捨離） キ保連九州部会園長・主任危機管理研修会 9～10日 保育要録に関する研修会 14日 子どもの育ちを支える運動シンポジウム in 九州ブロック 23日	聖書会 8日 理念・保育方針、キャリアパス、自己評価懇談 18日
3月	熊本市保育所等職員合同研修会園長主任等研修会 3日	聖書会 15日

## 10. 施設整備

- 熊本地震の影響を受けた建物関連及び園舎改築に関する報告
  - 4月8日 施設整備事前協議に係る現地調査
  - 4月14日 施設整備事前協議に係る理事長・施設長ヒヤリング
  - 4月14・16日 熊本地震により壁面やホール梁に多数のクラック。園庭にあるコンクリートブロック製倉庫の壁面一部崩落。非常誘導灯損壊
  - 4月24日 応急危険度判定で使用可能との判定
  - 8月26～27日 園庭倉庫解体
  - 10月22日 給食室床工事
  - 10月24日 設計監理業務委託契約
  - 10月27～29日 地質調査
  - 1月12日 埋蔵文化財試掘調査
  - 3月23日 工事請負業者入札
- スチームコンベクション 1台購入した。

## 11. 活動報告

月	日	行 事	内 容
4月	1	*建物点検日	*園内外を点検リストに従い点検報告を行う（毎月1日定例）
	2	入園式	新入園児 15人と保護者を迎える
	4	入園・進級合同礼拝	入園進級を感謝し、クラスや職員紹介をする
	16	熊本地震（本震）によりお見知り遠足を中止、休園（～23日）	
	25	保育再開	5月14日まで少しずつ開所時間を延長しながら保育を行う
	27	*誕生会	*みんなで誕生者を祝う（毎月定例） 4月は救援物資としていただいた宮崎地鶏炭火焼入りカレーとフルーツポンチという忘れられないメニュー

5月	17	内科健診	園医による内科健診
	18	ロアッソサッカー教室	* さくら・ゆり組のサッカー教室（毎月第3水曜日定例）
	25	避難訓練 幼年消防クラブ結成式	* 発火場所時間を想定して訓練する（毎月第4火曜日定例） 中央消防署の指導による幼年消防クラブ結成式を行う。避難訓練の様子も見て頂き、職員は水消火器で消火訓練をした
6月	3	歯科健診	園医による歯科健診
	6	花の日礼拝と訪問	警察学校、銭高組（マンション工事現場事務所）などへ花束とカードを添えて訪問。角本牧師も同行
	7	フッ素洗口指導	歯科衛生士より虫歯の話やフッ素洗口説明
	20	保育参観（親子お楽しみ会）	親子でのふれあいを中心とした保育参観と親睦を兼ねたお弁当タイムを過ごす
7月	1	プール開き	事故のないようプールを囲んで礼拝する
	16	オスマン・サンコン氏と山本淳一氏訪問	地震復興イベントで来熊中の2人が園児と交流した
	24	夏まつり	余震を考慮して、明るい中で楽しく安全に楽しめるようなゲームコーナーをつくった。復興顔はめパネル、魚釣り、箱の中あてクイズなど
8月	3	もも組クラス懇談会	もも組保護者と担任が懇談する
	4	ふじ組クラス懇談会	ふじ組保護者と担任が懇談する
	31	プール終了の合同礼拝	事故もなく過ごせたことを感謝し、礼拝する
9月	1	非常食体験の日	畑の収穫物を給食に用い（かぼちゃニョッキの具だくさん汁） 山の上団地の方と一緒に食事をする
	6	保育参観	各クラスの保育参観を、午前の部、午後の部に分けて行う。仕事の都合に合わせて参観ができるので好評だった
10月	1	運動会	晴天に恵まれ、本園庭で最後の運動会を行う
	6	ふれあい移動動物園	熊本市動植物園のカメ、モルモット、こやぎなどが来てふれあう
	6	内科健診	園医による内科健診
	15・29	さくら組個人懇談	保護者と担任が子どもの育ちなどについて個人懇談を行う
	25・26	お泊り保育	ゆり組15人雑草の森にて野外活動と宿泊を行う。周辺の道路、余震安全確保の点から往復ジャンボタクシーで行く代わりに昼食をピザ釜でのクッキング体験ができるようにした
	28	チューバマンショー	愛光幼児園にて行われたチューバとピアノの音楽会にゆり組14人が参加
11月	2	いもほり遠足	貸切バスで広安愛児園へ行きいもほりを楽しむ。ゆり・さくら・ふじ・もも組65人
	4	祖父母ふれあい	園児祖父母を招き（27人）交流の後茶話会を行う
	4	げんきっずフェスティバル	熊本学園大学のげんきっずフェスティバルにゆり組15人が参加し、遊びのコーナーやステージの出し物を楽しむ
	7	収穫感謝礼拝・幼児祝福礼拝	家庭より果物・野菜を持ち寄り、感謝の礼拝をする。また、角本牧師より祝福をしていただく



	8	収穫感謝訪問	果物や野菜にカードを添えて、近隣や警察学校等を訪問する
	10・11	おみせやさんごっこ	各クラスで制作した食べ物やアクセサリなどを売ったり買ったりして楽しむ
12月	8	クリスマス公開リハーサル	クリスマスリハーサルを公開し、家族及び地域の方を招いた。(30人) 大江教会宣教研修中の多田神学生礼拝奉仕
	9	大江保育園交流会	大江保育園のクリスマス会にゆり組 15人が招かれ参加。サブライズゲストにくまモンが来て喜んだ
	10	クリスマス	クリスマスの礼拝と祝会を行う
	16	山の上団地いきいきサロン	さくら・ふじ組 33人で訪問。クリスマスの歌やハンドベル演奏をして喜ばれた
	20	焼きいも	園児祖父母からいただいたわらで焼きいもをする
	22	誕生会とクリスマスランチ	誕生会にサンタさん来園。クリスマスランチとしてバイキング会食をする
1月	14・28	ゆり組個人懇談	保護者と子どもの育ちや小学校のことを個人懇談する
	16	内科健診・歯科健診	園医による未受診者の内科健診、歯科健診
2月	9	創立記念礼拝	角本牧師と共に創立 69周年の記念礼拝をまもる。創立から今日までの園舎や保育の様子を中心に写真を掲示した
	16	託麻原小学校幼保交流会	ゆり組 15人託麻原小学校を訪問する
	18	保育参観発表会	クラス・たてわり保育の様子を参観した後、ゆり組の劇と合奏の発表をみんなで楽しむ
	20	神水教会礼拝及び慈愛園デイサービス訪問	ゆり組 15人は愛光幼児園年長児と共に、神水教会で礼拝をまもった後、交流を深める。慈愛園デイサービスも訪問する
	21	高野病院工事前壁面アート除幕式	高野病院工事前壁面のために制作した8枚の絵(他園の作品もあり)の除幕式にさくら組 16人が参加
	22	大江小学校幼保交流会	ゆり組 16人が大江小学校1年3組のグループ発表を見て、小学校生活の様子を知る
	27	緊急避難訓練	不審者発見伝達訓練(職員)
3月	7	ゆり組遠足	ゆり組 15人御船町恐竜博物館を見学する
	8	ふじ組サッカー教室体験	ふじ組 16人コーチの指導でボール遊びとサッカー体験をする
	9	避難訓練 幼年消防クラブ修了式	避難訓練の様子を見てもらい、速やかな避難を褒められる。中央消防署より幼年消防クラブ修了証が手渡される
	10	非常食体験の日	パッククッキング。カレーライスと離乳食を同じ鍋で同時調理をする。離乳食も手間をかけずに上手にできた
	14	さくら・ふじ組遠足	さくら・ふじ組 32人堂面公園へ遠足に行く
	15	ゆり組サッカー教室と感謝の食事会	ゆり組最後のサッカー教室、コーチと感謝の食事をする。ロアツ君、ぷれすけ、まもる君の3人のイメージキャラクターもサッカー教室に参加、熊日キャロットの取材を受ける
	17	お別れパーティー	ゆり組と退職者を囲んだ集会後、ピクニック形式で食事をする
	23	新入園児説明会	2017年4月入園児家庭へ重要事項説明と面接を行う
	25	保育証書授与式(卒園式)	ゆり組 16人が卒園する